

平成29年度 立山町社会福祉協議会事業報告

今日、我が国では超高齢社会を迎え、2025年には団塊の世代が75歳以上となり、高齢化はさらに急激に進展することが予想されています。また、社会構造の変化による価値観の多様化、生活不安の増大、犯罪や事件の深刻化などを背景に、地域社会のつながりや、地域に対する関心の希薄化が問題になっています。

当町においても、少子高齢・核家族化が顕著な状況で、一人ぐらし世帯・高齢者のみの世帯が増加し、中山間地域のみならず市街地と呼ばれる地域においても、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難な「限界集落」の如き様相を呈する状況が見受けられる地域もあります。

近年の社会保障制度改革は、需要の増加を抑制しながら、予防・自立に重点を置くことで、年金・介護・健康といった社会保険制度を将来にわたって持続可能なものとするとともに、家族を核とした地域での「皆で支え合う」「支え合いの循環」を将来の社会のひとつの姿として「団塊の世代」も含めた「地域への参加」が強く提唱されています。

このような状況の中、地域の人が共に支え合い、いきいきと暮らし続けられる福祉の町づくりを目指し、第2次立山町地域福祉活動計画に基づき、「みんなが輝く共生のまちづくり」の推進に向け、当協議会の役割はますます重要なものとなり、地域福祉の拠点として高齢福祉、障害者福祉、児童福祉それぞれの分野において、事業を進めているところです。

また、第2次計画が当年度で最終年に当たることから、第3次立山町地域福祉活動計画を策定しました。策定に当たりましては、これまでの計画を踏まえつつ町健康福祉課と協働で取り組み、立山町10地区すべてで福祉懇談会を実施し、その中でそれぞれの地区の課題や問題点と共に地区の特徴、強みなどを考える機会としました。さらに、今回初めて各地区10地区の計画も含めて策定されました。今後の5年間を運営していく上で重要な指針となると考えております。

このほか、当協議会においては、地域の福祉力の底上げを目指し、「ふれあい活動事業」に加え「ケアネット活動事業」を取り入れ、高齢者から子育てまで幅広く、互いに協力しながら住みよいまちづくりを進めて来ました。

また、地域の福祉力向上の手段であるボランティア活動の推進を図るため、ボランティア掲示板を設置し、情報の発信に努めると共に、近年各地で発生する災害時、被災者にとって精神的・体力的に大きな支えとなる災害救援ボランティア事業の推進に努めました。

地域住民の活動拠点として、平成24年6月4日に元気交流ステーションに移転し、町民の多様な福祉ニーズを的確にとらえ、互いに自立し、関係機関との連携や協働を密にして、① 地域福祉活動推進 ② 在宅福祉サービスの推進 ③ 総合的な相談援助 ④ ボランティア活動の推進 ⑤ 福祉教育の推進 ⑥ 高齢者福祉事業の推進 ⑦ 日常生活自立支援事業の推進 ⑧ 出逢い応援事業、を事業目標に掲げ積極的に展開してきました。

なお、主な事業等の取組みについては、次のとおりです。

1. 法人運営事業・その他の事業

(1) 法人運営、役員活動事業

5月	28年度会計監査	5月	9日	元気交流ステーション
5月	理事会	5月	18日	〃
6月	評議員会	6月	13日	〃

6月	理事会	6月21日	〃
8月	理事会	8月25日	〃
12月	理事会	12月12日	〃
12月	評議員会	12月19日	〃
12月	評議員選任・解任委員会	12月21日	文書審議
3月	理事会	3月16日	元気交流ステーション
3月	評議員会	3月23日	〃
3月	評議員選任・解任委員会	3月30日	文書審議

(2) 共同募金活動、日赤事業、立山善意銀行事務、町遺族会事務

(3) 社会福祉協議会ホームページの開設、運営
 ページビュー数 3,328回

2. 企画広報事業

平成29年度立山町社会福祉協議会表彰式において、これまで福祉の推進に功績のあった方々と団体の表彰式を開催し、より多くの町民が福祉について考える機会とした。

立山町社会福祉協議会表彰 11月18日 立山町民会館 大ホール 社会福祉事業功労9組

3. 地域福祉推進事業

(1) 地域総合福祉推進事業（ふれあい型・ケアネット型）への助成、活動強化に努めた。

第1回	地区社協会長・事務局長会議	5月1日	元気交流ステーション
第2回	地区社協会長・事務局長会議	8月28日	〃
第3回	地区社協会長・事務局長会議	12月4日	〃
第4回	地区社協会長・事務局長会議	3月16日	〃

・県内先進地視察研修 7月29日～7月30日 魚津市・黒部市 参加者15名

・ケアネット事業活動実績

H29年度：実施地区数 10地区 援助対象者 146名 活動参加者数 290名
 訪問等活動延べ回数 11,984回

※H28年度：実施地区数 10地区 援助対象者 158名 活動参加者数 280名
 訪問等活動延べ回数 11,773回

(2) ケアネットセンター運営事業

実施地区検討会・報告会等参加 18回

立山町ケアネット活動全体検討会 9月1日 元気交流ステーション

基調講演：「優しく強いまちをつくろう」

講師：金城大学 社会福祉学部 教授 内 慶瑞 氏 参加者71名

ワークショップ：「地域ぐるみで問題発見！相談支援の仕組みを考えよう！

～孤立・虐待・困窮等の視点から☆ケアネット等地域活動の気づきから～

町内居宅介護支援事業所連絡会ケース検討会出席 2回

個別ケースの相談や会議への出席・開催 26回

(3) 福祉人材育成・支援事業

ふれあい活動員（福祉協力員）を61名配置し、サロン活動やケアネット活動への実施・協力を行った。

- ・第1回ボランティア・ふれあい活動員・ふれあいいきいきサロンリーダー合同研修会

4月25日 元気交流ステーション

ボランティアの意義と基本姿勢について学ぶ。

講義：「自分の強みを地域で活かそう！」

講師：富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満 氏

参加者28名

- ・第2回ボランティア・ふれあい活動員合同研修会 2月9日 元気交流ステーション

地域活動の意義と今後期待される役割について考える。

講義：「改めて考えよう！ボランティア活動とは？」

～活動をとおしてみえる 地域・家族・自分とのつながりの輪～

講師：富山短期大学 福祉学科 学科長 関 好博氏

参加者42名

- ・各地区のふれあいいきいきサロン運営者・協力者を対象に連絡研修会を行った。

第1回ふれあいいきいきサロンリーダー研修会 4月25日 元気交流ステーション

（内容は第1回ボランティア・ふれあい活動員研修会と同じ）

参加者19名

第2回ふれあいいきいきサロンリーダー研修会 10月6日 元気交流ステーション

「サロンで活用できるメニュー提案&情報交換」

参加者47名

- ・各地区の子育てサロン運営者・協力者を対象に連絡会を行った。

第1回子育てサロンリーダー連絡会 7月18日 元気交流ステーション

「下段地区子育てサロン見学&情報交換会」

参加者32名

(4) 住民参加型地域福祉事業

- ・地区社協を中心にふれあいいきいきサロンランチを開設し、高齢者の生きがいや社会参加意欲を高めた。

ふれあいいきいきサロンランチ 平成29年度：延べ475回

参加者延べ10,152名

※平成28年度：延べ475回

参加者延べ10,080名

- ・地区社協単位で子育てサロンを開設し、主に未就所（園）児と家族を対象に、子育て期の不安解消や情報交換など子育て支援を行った。

子育てサロン

平成29年度：延べ78回

参加者延べ2,455名

※平成28年度：延べ79回

参加者延べ2,249名

(5) 地域福祉活動計画の推進及び策定

- ・平成25年度～29年度の5ヵ年を計画期間とする第2次地域福祉活動計画の推進委員会を設置し、事業の点検・評価を行う仕組みを検討した。

H29年度：事務局内検討会（月1回）

地域福祉活動計画推進委員会 5月18日 元気交流ステーション 参加者10名

- ・平成30年度～34年度の5ヵ年を計画期間とする第3次地域福祉活動計画を策定した。

H29年度：策定委員会 2回 作業委員会 4回

地域福祉フォーラム 12月10日（町民への中間報告）

※H28年度：策定委員会 1回 作業委員会 2回 福祉懇談会 全10地区巡回

(6) ふれあい総合相談事業の実施

弁護士等の専門相談、民生委員児童委員による心配ごと相談等の一般相談を実施した。また、事務局職員が相談援助を随時行った。町広報や社協だより「そよかぜ」に相談センターの相談日を掲載し広報に努めた。

- ・心配ごと相談員及び職員を対象に研修会を開催した。

第1回 心配ごと相談員連絡会 4月10日 元気交流ステーション

平成28年度ふれあい総合相談センター実績報告・平成29年度開設計画

参加者12名

第1回 心配ごと相談員研修会 9月1日 元気交流ステーション

(内容は立山町ケアネット活動全体検討会と合同開催)

参加者10名

第2回心配ごと相談員連絡会 2月2日 元気交流ステーション

参加者11名

平成29年度相談事例検討・平成30年度ふれあい総合相談センター開設計画

- ・相談件数 法律相談 37件 心配ごと相談 5件 職員対応相談 25件

4. 助成事業

社会福祉団体等6団体に活動費の助成を行った。

5. 在宅福祉サービス推進事業

(1) 高齢者外出支援サービスの実施

要介護認定を受けている高齢者の方で、在宅で日常的に車椅子を使用している方を対象に通院等の外出支援を行った。

登録者数 6名 利用延べ日数 41日 利用延べ回数 41回

6. ボランティア活動事業

(1) ボランティアコーディネーター設置事業 ボランティアセンター相談件数 421件

(2) ボランティア活性化事業

ボランティアに関する情報を社協だより「そよかぜ」の紙面や町内5カ所に設置した掲示板で紹介した。また、ボランティアセンター運営委員を委嘱し、運営委員会を開催することで、事業運営の推進を図った。(年度途中より、ボランティアサポーターにより各町立公民館にボランティア情報を掲示)

(3) 調査研究事業

地域で予測される課題への対応を探るため、調査研究事業を実施した。県内先進地区の生活支援の取り組みを調査する視察研修会開催の他、同事業において平成28年度に調査した子ども食堂をイベントに合わせて試験的に設置した。

第1回 県内先進地視察研修会

7月21、22日 魚津市、黒部市

(地区社協事務局長先進地視察研修会と合同開催)

参加者21名

- ・子ども食堂の試験的な設置に向けた検討会・準備

適宜

- ・子ども食堂の試験的な設置

11月18日

来場者約300名

(4) 養成研修事業 ー①ボランティアリーダー・サポーター研修会ー

ボランティアリーダー・サポーター等の交流・育成を目的に研修会・連絡会を実施した。

- 第1回 ボランティアリーダー・サポーター研修会 4月25日 元気交流ステーション
(*第1回ふれあい活動員・ふれあいきいきサロンリーダー研修会と合同開催) 参加者25名
- 第2回 ボランティアリーダー・サポーター合同研修会 2月9日 元気交流ステーション
(*第2回ふれあい活動員研修会と合同開催) 参加者28名
- 第3回 ボランティアリーダー・サポーター合同連絡会 10月27日 立山町民会館 参加者18名
(*ボランティアまつり事前打ち合わせ会と合同開催)

(5) 養成研修事業 ー②社会参加促進サポーター養成講座ー

高齢者や障害者を支援するボランティアの養成を図るため、社会参加促進サポーター養成講座を開催した。

- 第1回 社会参加促進サポーター養成講座 10月31日 雷鳥苑・わくわくファームきらり
「雷鳥苑・きらり施設見学及び障がい(精神)を抱える方への関わり」 参加者10名
講師: 雷鳥苑・わくわくファームきらり
- 第2回 ボランティアまつり就労支援施設の出店コーナー補助 11月18日 立山町民会館
第1回 参加者の内3名
- 第3回 脳トレ研修会(脳トレ活動協力者養成) 2月27日 元気交流ステーション
参加者34名(内脳トレ立山会員12名)

(6) 養成研修事業 ー③傾聴ボランティア養成講座ー

傾聴ボランティア活動へ参加する活動者の養成を図るため、傾聴ボランティア養成講座を開催した。

- 第1回 傾聴ボランティア養成講座 ～傾聴の基礎～ 11月6日 元気交流ステーション
講師: 富山傾聴ボランティアピアの会 小柴 春枝 氏 参加者10名
- 第2回 傾聴ボランティア養成講座 ～傾聴の応用～ 11月20日 やまの湯デイサービス
講師: 富山傾聴ボランティアピアの会 小柴 春枝 氏 参加者8名
- 第3回 傾聴ボランティア振り返り会 1月24日 元気交流ステーション
参加者12名

(7) ボランティアサポーター設置事業

ボランティアサポーターを10名配置し地域でのボランティア活動情報の提供等を行った。また、連絡会を開催し、情報交換や各地域でのニーズを持ち寄り検討した。その他、福祉人材育成の視点から、子どもボランティア体験学習会等への参加協力も行った。

- 第1回 ボランティアサポーター連絡会 5月25日 元気交流ステーション 参加者 7名
- 第2回 ボランティアサポーター連絡会 10月27日 立山町民会館 参加者 5名
(*その他、(4) ボランティアリーダー・サポーター研修会として研修会を開催)

(8) 広報啓発事業

ボランティア活動の啓発・推進を図るため、ボランティアまつり&福祉映画上映会をボランティア連

絡協議会と共同で開催した。ボランティア団体の紹介・活動披露・福祉施設物品販売・ボランティア体験コーナー・子ども食堂の設置等を行った。また、善意銀行の協力で映画を上映した。

11月18日 立山町民会館 参加者役350名

(9) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

推進校9校(小学校7校、中学校1校、高校1校)に活動費助成を行った。

(10) 福祉教育地域指定推進事業

「地域のつながりを学ぼう」というテーマに基づき、ボランティア団体や高校・放課後児童クラブと連携し、町内の小学生を対象に子どもボランティア体験学習会を実施した。また、保育関係者・教育関係者・放課後児童クラブ指導員・ボランティアを対象に福祉教育推進セミナーを開催した。

・子どもボランティア体験学習会

第1回 民生委員の見守り訪問体験 7月27日 横江集落(高野) 参加者16名

講師:高野地区民生委員、しいの実グループ

第2回 防災マップ作り 8月6日 釜ヶ淵小学校 参加者11名

講師:NPO法人明日育 長井 一浩 氏

・福祉教育推進セミナー

第1回 福祉教育推進セミナー 5月17日 元気交流ステーション

講師:富山県社会福祉協議会 課長 池田 浩一郎 氏 参加者33名

第2回 福祉教育推進セミナー(報告会) 2月23日 元気交流ステーション

報告:釜ヶ淵小学校・雄山高等学校・立山町ボランティアセンター

講師:学校法人 富山国際学園 富山国際大学 子ども育成学

教授 村上 満 氏

参加者46名

(11) 災害救援ボランティア活動支援事業

災害救援ボランティアセンターの設置訓練、富山県総合防災訓練への参加を通して、災害時の役割の検討を図った。

・災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練 7月14日 元気交流ステーション

講師:特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

参加者26名

・富山県総合防災訓練

9月30日 立山小学校

参加者43名

7. 居宅介護支援事業

ケアマネジャーによる適切なケアプランの作成、介護給付費の管理

要介護1~5 月平均利用者数 114名

介護予防 月平均利用者数 15名

8. 居宅介護等事業(ホームヘルプサービス)

(1) 要介護認定者への訪問介護 要介護1~5 利用時間 2,853時間 月平均利用者23.5名

要支援1~2 利用時間 1,541時間 月平均利用者 27名

	総合	利用時間	70時間	月平均利用者	27名
(2) 障害者への訪問介護	身体障害者	利用時間	346.5時間	月平均利用者	37名
	知的障害者	利用時間	240.5時間	月平均利用者	20名
	精神障害者	利用時間	281.0時間	月平均利用者	35名
(3) 自立支援サービス		利用時間	20時間	月平均利用者	1名

9. 日常生活自立支援事業

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の管理に困っている方などを対象に本人や関係機関の相談に専門員が応じた。

判断能力等の低下により本事業の利用が適している方とは契約し、金銭管理等のため生活支援員が訪問し、援助を行った。

利用者 8名 生活支援員登録者 5名 制度利用等相談件数 13件

10. 高齢者福祉推進事業

(1) みらいぶくつろぎサロン運営事業

元気交流ステーションに集約されている保健福祉総合機能を活かした誰もが集える常設型のサロンとして、引きこもりの防止や介護予防に関する活動を取り入れたメニューの提案、健康器具等の設置、教養講話やボランティアグループ等の活動披露、季節行事等を通して、積極的な社会参加、仲間づくり、生きがいつくり、健康づくりの一助となる機会を提供した。

元気交流ステーション2階大広間 サロン開催日数 206日

ボランティアグループ活動披露数 71回

季節の行事 4回（3周年記念イベント・夏祭り・感謝祭・おひな祭り）

延べ利用者数 7,058名

(2) 福祉バスを運行し、くつろぎサロンへの送迎及び福祉団体、地区社会福祉協議会等の諸行事の送迎を行った。

運行回数 延べ 208回（くつろぎサロン送迎運行回数 98回）

利用者数 延べ 3,261名

11. 基金運営事業

(1) 社会福祉事業振興基金の管理、運営

(2) ボランティア基金の管理、運営

12. 共同募金配分事業

(1) 社会福祉協議会だより「そよかぜ」の発行 年5回 全世帯配布

(2) 福祉育成・援助活動など諸事業の支援

・ふれあいいいききサロンランチ活性化事業

高齢者ふれあいいいききサロン、子育てサロン等に対して講師の派遣を行った。

講師：ハートビートライフ・オカ インストラクター他

延べ57回派遣 参加者延べ 1,176名

・住民支え合いマップづくり事業

住民同士のふれあいや支え合い活動を地図上に可視化することで、地域住民の支え合いの実情や生活上の問題を具体的に把握し、共助の仕組みを検討した。

住民支え合いマップ入門セミナー

講義・実習：「支え合いマップづくり入門」

講師：住民流福祉総合研究所 代表 木原 孝久 氏

10月20日 五百石公民館 参加者36名

10月21日 上東地域活性化センター 参加者12名

住民支え合いマップ実践セミナー

実践：「ご近所パワーで助け合い起こし」

講師：住民流福祉総合研究所 代表 木原 孝久 氏

6月26日 釜ヶ淵公民館 参加者23名

6月27日 下段公民館 参加者16名

10月20日 蔵本公民館 参加者27名

・地域歳末たすけあい助成事業

12月に全地区社協に助成金を配分した。高齢者宅への慰問、三世代交流やクリスマス会等の行事が実施された。

・地域福祉・ボランティア活用啓発事業

ボランティアグループ等の紹介パネルを作成し、イベント等で展示を行い、ボランティア活動の啓発を行った。

1.3. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得者等へ生活福祉資金等の貸付・相談を行った。

取扱件数 7件 制度利用相談件数 8件 継続相談件数 80件

(2) 生活困窮者自立促進支援事業

富山県東部生活自立支援センター（魚津市）と連携して、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者（生活困窮者）に対し支援を行った。

町報や社協だより「そよかぜ」に相談日を掲載し広報に努めた。

取扱件数 7件 継続相談件数 20件

1.4. 出逢い応援事業

サポートセンター「おむすびくらぶ」を設置し、結婚相談や情報交換を通して出逢いの場を提供し、結婚への支援を行った。

・センター運営体制

推進委員15名 支援員29名（プランナー10名・アドバイザー11名・サポーター8名）

センター長1名（社協事務局長兼任） コーディネーター1名（社協職員兼務）

登録会員126名（内訳：男性85名・女性41名：3月31日現在）

※推進委員会の設置 円滑な運営と効果的な事業推進を図るために設置

立山町内で活躍する企業や団体、支援機関、学識経験者及びその他会長が必要と認めた者で組織し、立山町社会福祉協議会会長が委嘱する。

※支援員は、地域活動に参加している者で、結婚への支援及び地域の担い手育成に理解と関心を持ち、その役割遂行に支障のない者を、立山町社会福祉協議会会長が委嘱するものである。

・結婚相談日の開設

アドバイザーによる結婚相談を第2・4木曜日午後、第1・3土曜日午前、第1・3木曜日夜、第2・4火曜日夜に開設し、登録会員への結婚相談等に応じる。

元気交流ステーション相談室 相談件数 48件 マッチング12件

・成婚カップル 1組（累計4組）

・推進委員会の開催 関係機関への広報啓発及びセンターへの指導助言

第1回推進委員会（研修会） 5月10日 元気交流ステーション 参加者10名
（第1回全体研修会と合同開催：親向けセミナー「親だから難しい・・・でも親にしか出来ないこと」とやまマリッジサポートセンター 正木照美氏

第2回推進委員会（報告） 3月19日 元気交流ステーション 参加者10名

・支援員研修会及び情報交換会の開催 結婚支援に対する必要な研修（婚活支援についての情報セキュリティ、コミュニケーション等）を開催し、支援員の資質向上を図り、支援員間の情報共有の場を提供

第1回全体研修会 5月10日 元気交流ステーション 参加者19名

第1回支援員研修会・第1回情報交換会 6月20日 元気交流ステーション 参加者21名

第2回支援員情報交換会 9月15日 元気交流ステーション 参加者20名

第3回支援員情報交換会 10月17日 元気交流ステーション 参加者25名

第2回支援員研修会 2月20日 元気交流ステーション 参加者17名

第4回支援員情報交換会 2月24日 元気交流ステーション 参加者25名

・結婚世代の子どもを抱える親御さんを対象に、親ができる支援を考える

親向けセミナー 5月10日 とやまマリッジサポートセンター正木照美氏 参加者10名

・夏イベント開催に向けて、参加者を対象にコミュニケーション講座を開催

男性向けコミュニケーション講座（男性イベント参加者対象） 7月1日 参加者38名

女性のコミュニケーション講座（女性イベント参加者対象） 7月1日 参加者18名

・事業啓発イベントの開催

夏イベント カクテルパーティ IN みらいぶ 立山町元気交流ステーション 参加者56名

秋イベント 大人の遠足 INTATEYAMA 10月29日 岩嶽寺・芦嶽寺方面 参加者20名

ボランティアまつりにて広報啓発コーナー設置 11月18日 立山町民会館 参加者30名